

津山市地域公共交通総合連携計画策定調査業務に係る
指名型簡易プロポーザル審査委員会議事録

平成 21 年 6 月 2 日(火)10:00~16:00
市役所 2 階 大会議室

1 開会

2 挨拶

(委員長)

3 協議事項

(1) 事務局説明

事前の協議事項について、事務局より説明。

(事務局)資料配布時に提案させていただいた 2 点について、提案。1 点目として、調査サンプル数が業者により異なり、直接に金額へも反映しているため、倍の評価ではなく、金額の評価を通常どおり(5~1 点)にさせていただく。2 点目として潜在需要を把握するために必要であれば、業者決定後に内容・調査サンプル数の変更になるかもしれないという点を了解してほしい。このことについては、業者へもおことわりをしている。→承認
審査の進め方について説明。

これからのプレゼンを受け、評価表にそれぞれ記入。評価の基準については、プロポーザル実施要領によるが、お手元の評価基準のとおり。

得点については、同得点を認める考え方とする。なお、金額については、評価基準により最終の見積結果に記入済み。

審査については、委員会審査実施細則に従い、審査員個々の評価について意見交換した後に、委員会としての統一評価をおこない、その結果について再度確認・調整し採集決定とする予定。

プレゼンテーションについては、持ち時間 20 分でパワーポイントを用いて各項目について 15 分を限度として説明し、質疑・応答時間を最低 5 分設けるものとする。説明開始から 14 分経過時に合図を出し、15 分で説明を終了とする。質疑終了後 5 分で業者の入れ替えを実施する。

(2 番委員)別途配布している『コンサル各社にお話しした内容(参考)』について、説明。大学と一緒に進めていくが、特殊なことをするという訳ではなく、潜在的な需要の把握等をすすめ、生活の満足度を上げ、民間路線バスとの共存や鉄道との連携等の話しをしている。

(2) 業者プレゼンテーション

①番業者

(業 者) 資料により説明。

質疑

(2 番委員) 市民アンケートと簡易 PT 調査を想定しているが、そのあたりのデータをつくった経験はあるのか。

(業 者) 岡山県の福祉移送サービスの事業で福祉のほうの簡易 PT 調査を経験している。

(1 番委員) いろいろな経験があるようだが、中心があり、周辺部があるという中で、津山市に役立つような計画ができた例はあるのか。

(業 者) 福祉移送サービスについては、屋の空いている車で乗合タクシーでやるという計画で経験はある。

H19 の津山市都市計画マスタープラン策定ではいろいろとやった。津山管内のバス路線網図を作った経験で現状を把握している。

(2 番委員) 倉敷市で実施したものと津山市の違いはどこか。

(業 者) 倉敷市には、バスもあるが JR や水島臨海鉄道があり、津山市は JR の便数が少なくそこばかりには頼れない状況である。

津山市は、人口規模の割には集客力・拠点性が高い町である。倉敷市は横の流れが多い。

(2 番委員) 人口密度の低い地域での公共交通としては何を考えるか。また、どういう地域まで公共交通がカバーできるか、キーワードは何か。

(業 者) 合併した旧町村地域だと思われるが、アンケートを実施し需要をみる。そしてバスを走らせた場合の経費と市がどこまで補助できるか。補助の限度と費用対効果を考え、難しい場所についてはバスを運行する対処だけではなく、極端な例でいうとタクシー券を配布するなどという案もある。タクシー事業者をうまく巻き込んでやりたい。

(2 番委員) 主担当者のこの業務にかけることができる時間はどれくらいか。

(業 者) この一年については、これをメインとしてやっていくことができる。

②番業者

(業 者) 資料により説明。

質疑

(2 番委員) 調査を重要視する業務であるが、PT 調査サンプル数を一般市民に 1,000 サンプルとした根拠は。

(業 者) 計算で算出している。有効票としての 1,000 部である。

(2 番委員) 合併した地域をひとまとめにして良いのか。

(業 者) サンプル数は、地域別に人口の割合等で割り振り、ゾーン別で偏りのな

いように調整したい。

(1 番委員) 潜在需要の把握のための工夫は。

(業 者) 市民アンケートの中でどういった条件が整えば公共交通へ転換するかの意向を聞く予定としている。

(5 番委員) 国の認定を受けるための自信を具体的に説明してほしい。

(業 者) サービスを上げていかなければならないが、財政面等とのバランスを考慮して計画していけば認可は大丈夫である。

(1 番委員) 新しい法律に基づく他の実績は。

(業 者) 倉敷市とかで実績あり。合併した日本技術開発の今までの実績もある。

(2 番委員) 主担当者は、どのくらいの時間、ウエイトをかけれるか。

(業 者) 各方面のメンバーがおり、主担当を中心として対応は大丈夫である。

③番業者

(業 者) 資料により説明。

質疑

(2 番委員) 簡易 PT 調査に対するデータを作成するほうの経験はどうか。

(業 者) 今治市で 2 年ほど前に OD 調査のデータを取り扱う経験をしている。

(2 番委員) 中山間地域という特殊性のある中での密度が低い中での公共交通サービスの可能性、限界線をどのように考えたらよいか。

(業 者) 合併した区域は相当広いが、地域のタクシー事業者の有効活用やそう行った事業者の無いところについては、協議会等の組織化などの手法を検討したい。

(1 番委員) 津山市で実施するにあたりここが売りの部分というところを教えてください。

(業 者) 中心部でのループバス等の乗り継ぎができるということを提案したが実現できていないので、このあたりが課題だと考えている。

(2 番委員) ワークショップを提案しているが、時間がかかると思うが、一年間で仕上げていく中でどこまで計画ができるのか。

(業 者) 話の中での進捗はコントロールが難しいが、地域と課題を共有し、引き続き次年度へ試験運行等を継続してもっていくことができれば具体的に natte iku のではないかと考えている。

(4 番委員) 運行形態の見直しが提案されているが、単なる見直しと捉えられるがそれ以上のものはないのか。新たなところの潜在需要への考え方は。路線の再編とかいう中に入っているのではないと思うが。

(2 番委員) 顕在している需要と潜在需要の違いがある。潜在需要はほんとうは利用したいが使えないので他を利用している。これを明らかにしてほしい。そ

のあたりがうまく表現されていないのかなと思う。

(業 者) ワークショップを含めての現実の市民の需要の把握ができればと考えている。

④番業者

(業 者) 資料により説明。

質疑

(2 番委員) アンケートについては、どのくらいの数をどのように実施するのか。

(業 者) 2,000 部程度を考えている。人口は 10 万人ということで目標としては 5 割回収とし、対象は事情により利用できていない人にも聞くということで地域分布の中、無作為で選びたい。

(5 番委員) 現況公共交通調査について

(業 者) 協議会からの資料提供により、経年的な分析等をする。資料だけで把握できないものについては読み取れないものは業者からの聞き取り調査を実施する。乗り込み調査については、予定していない。

(1 番委員) 実績の中での成功事例や津山市に合うような事例はあるか。

(業 者) 東京都北区でのモデル運行の事例がある。

成功した事例としては、沖縄県糸満市の例や状況的に近い事例としては神奈川県秦野市のデマンドタクシーではないかと考えている。

(2 番委員) 都市部の例が多いが、主担当者は、津山市の現地を見たことはあるのか。

中山間地域での定時・定路線型の公共交通とデマンドタクシー等との限界線を求めるには何がポイントになるか。

(業 者) 中四国支社で担当するが、業務に入ったところで現地踏査をしっかりとする。実際に馴染みのあるエリアと考えている。デマンドタクシー等が馴染むかどうか、広範囲のエリア状況を把握した上でやっていきたい。

⑤番業者

(業 者) 資料により説明。

質疑

(4 番委員) 既存バス路線の洗い直し、乗車密度 3 人という話があったが、国の制度にそういったものがあるのか。

(業 者) 乗車密度 2 以上あれば国としてはある程度良いと判断されている。

(5 番委員) 現況公共交通調査の実施方法は。

(業 者) 鉄道・バスの路線網図を作るのと、乗車密度の路線網図、合併地域の課題など。実際に合併した地域には市が支援しているバスがあり、市全体で見ると高度にサービスが助成されている。高齢者の地域分布等、ゾーン別

に人口分布等とバス路線、乗車密度等のデータを使う。乗り込み調査は実施しない。

(1 番委員) アンケートをはがきで実施したいとしているが、住民の潜在的なニーズはどのように把握していくのか。

(業 者) 公共交通の代替の可能性ということで、一日でどのような動きをしたか、代表の手段を聞く。自動車等を使っている人にバス等が今より整備されたら変換する意志があるかを聞く。1%の抽出でよいかという話はある。ちなみに県南の PT 調査では 5%とっている。

(2 番委員) そのところについて PT 調査は、なぜ 1%なのか。

(業 者) 予算の関係があり、1,000 としたがサンプル数については先生と協議して進めていきたい。

(4 番委員) 類似実績に H17, 18 に真庭市の例があるが、その後の真庭市の動き等に考えはあるか。

(業 者) バス路線について、ある程度集約して動かしたほうが良いという案があった。今でも情報交換はしている。

⑥番業者

(業 者) 資料により説明。

質疑

(2 番委員) 生活交通の定義を深く求めたいと思っている。限界をどこに考えるのか。ポイントは。

(業 者) 公共交通を維持する中で、最低をどこにするのか、最低にならないときは、定期運行ではない形でやる。地域の仕分けはできてくると思う。アンケートの中で税金の投入等、サービスをどこまで求めるかを入れるべきだと考えている。阿波と中心部では感覚がちがうと思う。住民サイドとしてのサービス、行政サイドとしてのサービスのすり合わせが必要。

(1 番委員) 真庭市と若桜でやっているが、津山市との違いや着眼点は。

(業 者) 若桜は、主体が鉄道である。真庭市は、人口が津山市の半分である。津山市では、都市型の運行となり中心市街地で競合する部分が出てくると考えられ、運行形態の違いが出てくると思う。全体的にどういうルートが最適かを提案していくことが必要である。

(5 番委員) 業務実施体制は。

(業 者) 内容でチーム分けして対応。

⑦番業者

(業 者) 資料により説明。

質疑

(1 番委員) 岡山県での実績は倉敷市か。

(業 者) 倉敷駅周辺の循環バスを対象とした。商店街を活性化できないかという中で、アンケート等実施し、2ヶ月間実証実験、本格運行にむけての検討を商工会議所を中心に検討したが、現在は休止状態である。

(2 番委員) 津山市の計画の中でのポイントは、過疎地域の中での公共交通、デマンドバスの可能性であるが、問題点等は。

(業 者) コスト縮減できるということ。色々な方式はあるが、必要な人が必要な時に使えるということが重要である。中山間部では道から外れた部分までデマンドタクシーでいうと入っていけるという利点等があるが、ある程度の需要がないと成り立っていかない。阿波から加茂まで直接入ってきているが、鉄道もあるのでデマンドタクシーを導入することができれば支所間バスのコストを削減できるのではという思いもある。

(2 番委員) 担当者が大阪ということであるが、地域に根ざした計画という意味で津山市との距離感、対応はどうか。

(業 者) 高速道路があり、比較的近いところだと思っている。

⑧番業者

(業 者) 資料により説明。

質疑

(1 番委員) うまくいくためのポイントや、うまくいかない点は。

(業 者) うまくいくかという判断は地域によって違うが、事業化の手前までということでは、地域で引っ張ってくれる人と一緒にやっていくという場面がないとうまくいかない。協議会だけではうまくいかない。方向性をうまくうまく押さえようとするためにアンケートや住民の声をきめ細かく聞いたケースでは、ニーズとも合ってうまくいく。

(5 番委員) 現況公共交通調査の具体的な実施方法は。

(業 者) 既存データの活用やこれまでの推移の把握。収支としてどういう状況にあるのか。利用のあるところ、無いところを押さえ、ルートの検討をしていきたい。

(2 番委員) 地域による公共交通の格差、公平性とは。

(業 者) 市民がわかりやすいことが大事。午前・午後各1便があるとかのように、多くの人が最低限の水準を提供されている状況。

(2 番委員) 中山間が多く、すべての地域に提供できない可能性があるが。

(業 者) 行政側として提供できる部分についてはシビルミニマム。それ以上のことを望むのであれば自分たちで対応するとか、お金をはらうとかという発

想など地元がまとまれば、他の世界もあるのではないかと思う。

休憩ののち審査をお願いしたい。プレゼン、事前配布の資料に基づき評価シートに記入をしてほしい。(2:45 まで休憩)

(委員長)審査にあたっては、最終的には審査委員会としての点数を出そうと考えているが、まず各委員から評価についての話をしてもらいたい。

(1番委員)実績にポイントを置いた。①番業者は、津山市の都市マスを実施している。⑥番業者は、真庭市と若桜の経験がある。⑧番業者は、他にたくさんやっている。実施体制としては、基本的には津山市に駆けつけやすいという点で地元業者の評価を高くした。総合力については、津山市にとって全体的にどこが良いかという観点で採点した。

(2番委員)⑥番業者、⑦番業者などは学会活動など広い視野でよくやっている。⑧番業者については、いい感じであったがこの金額でできるのかという感じがしている。

総合力で言うと⑥番業者、⑦番業者、⑧番業者は、バス交通をよくわかっている感じ。

①番業者、②番業者は、倉敷市しかやっていない。これから実績を積むのかなという状況。

(5番委員)他人のデータを使うだけではだめである。乗り込み調査を実施するところの評価を高くした。

(6番委員)バスだけではなく他の実績を加味して、地元業者の①番業者、②番業者の評価を高くした。熱意的に①番業者が高かった。

(4番委員)アピール度、地域の把握など形どおりでしかない。実施体制に差をつけているが、潜在需要を引き出すようなところを高く評価した。実績はそのまま判断できないため量的なところで判断した。

(1番委員)業者ごとに精通度をみていくのがよいのか、各項目で優劣を決めていくのがよいのか。

全委員の平均点(合計点)を求め、コピーして配布。

(事務局)予算的に⑦番業者が厳しい状態。他は予算的には大丈夫。

募集時には国の補助が確定していなかったので予算を示せなかった。

(委員長)上位4社(②、①、⑧、⑥番業者)で検討していく。

②番業者について

(1番委員)①【精通度・企画・説得力】については平均的なので2
(5番委員)②【適切性】については、津山の状況はよく知っていた。
(2番委員)高校の調査を重視している。一般の調査サンプルが少ない点が気になる。
(委員 長)平均的であるので3とする。
(6番委員)③【実施(支援)体制】について、津山市のことをある程度知っている。
津山市に支店もある。
(委員 長)4とする。
(2番委員)④【実績】について、公共交通の実績をみるかその他も含めてみるか。
(1番委員)類似の交通の事例を想定しているのか。
(事務局)これにつながるものを考えている。
(2番委員)公共交通の計画をつくったことがあるかどうか。
(委員 長)平均の6点とする。
(5番委員)⑤【総合力】は、4でよい

①番業者について

(5番委員)①【精通度・企画・説得力】については、①番業者同じ程度
(委員 長)2点とする。②【適切性】については、3とする。
(6番委員)③【実施(支援)体制】については、津山市に事務所がある。都市マスを
実施している。
(委員 長)4点とする。
(2番委員)④【実績】については、倉敷市の事例は1年ごとに変わっている。
(4番委員)実績としては、なかなか参考になる良いものをだしていた。
(5番委員)基礎的な数字は使えるもの。
(6番委員)バス網図を作成している。
(委員 長)8点とする。⑤【総合力】については4点。

⑧番業者について

(委員 長)見積金額は低かったので追加のお願いはできるか。
(事務局)ある程度は上積みが可能。アンケートについては①【精通度・企画・説
得力】にいれるべき。
(委員 長)4点とする。
(5番委員)②【適切性】については、モデル地区を設定するというのがあった。い
い地区があればよいが。
(事務局)阿波や奥津川地区をモデルとできれば。
(委員 長)3点とする。③【実施(支援)体制】については、3点。
(2番委員)④【実績】について、実績はたくさんあるが、どうか。

(委員 長) 笠岡市もやっている。

(5 番委員) 地域性もある。

(委員 長) 8 点とする。⑤【総合力】については、①番業者、②番業者にくらべてどうか。3 点とする

⑥番業者について

(2 番委員) ①【精通度・企画・説得力】について、ここは内容をよく知っている。

(5 番委員) 津山市のことをよく知っているし特徴があった。真庭市も知っている。

(4 番委員) 真庭市では、よく精力的に動いてくれた。一年間よくやった。最終的には真庭市がうまく消化しきれなかった点があるが。

(5 番委員) GIS 調査や余っているバスの活用など特徴があった。

(4 番委員) 調査についても一番具体的であった。

(委員 長) 5 点とする。②【適切性】については、4 点とする。

(2 番委員) ③【実施(支援)体制】について、郵送費削減のため世帯へ送付というのは注意が必要である。

(委員 長) 4 点とする。

(5 番委員) ④【実績】については、身近な実績がある。津山市は、JR 路線の関係もあり若桜での経験が生きる。

(委員 長) 8 点とする。⑤【総合力】は、4 点とする。

(事務局) 各社の合計点を発表。見積金額の部分について全社(8 社)のときの評価でよいか。4 社で再評価しても結果は同じになるが。

(全 委 員) 了解。

(委員 長) 各委員が 1 位を入れた業者はどこか。

(事務局) 各委員が 1 位をいれた業者については、⑧番業者と⑥番業者が多い状況である。

(5 番委員) 平均点も⑥番業者が一番高いのでそれでよいのではないか。

(2 番委員) ほんとうに動けるのはあの人(実際には別の人がくることはないか)かなというのはある。

【審査委員会としての検討結果(評価)は別紙のとおり】

- ・ 全委員の平均点、審査委員会としての評価共に⑥番業者が最高点であり、これを最終結果とする。

4 その他

5 閉会